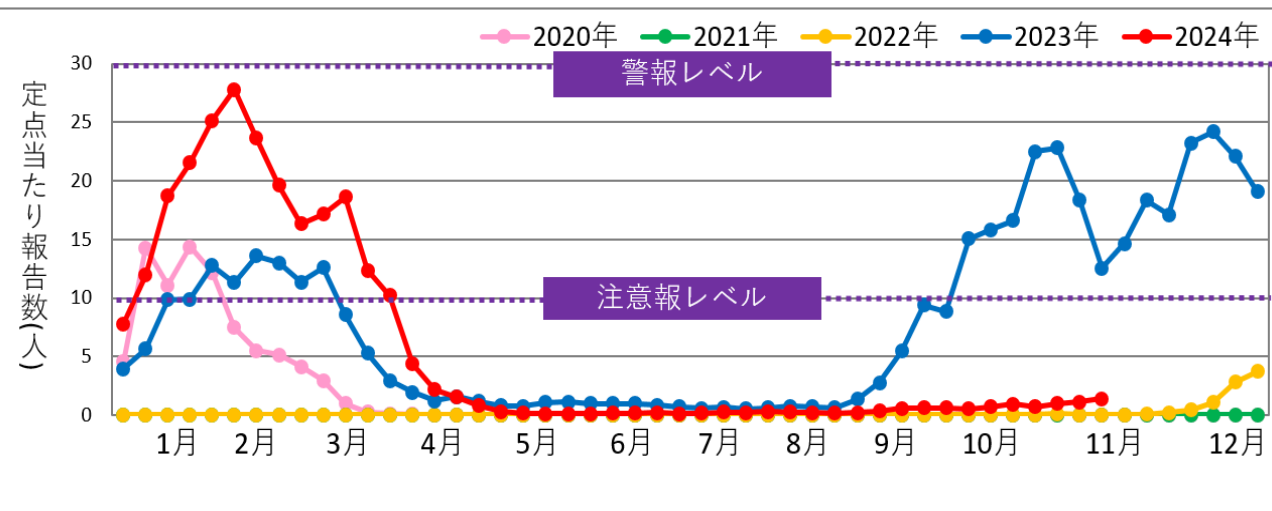




インフルエンザを予防しましょう！

インフルエンザの定点当たり報告数(神奈川県)



今シーズンは第44週に流行開始の目安(定点当たり報告数1)を超えています。
今後も感染者数の増加が予想されるため感染予防を徹底しましょう！



注意報・警戒とは

インフルエンザの定点当たり報告数が10を超えると「注意報」、30を超えると「警戒」が発令されます。(定点当たり報告数とは、その週の報告数を報告医療機関数で割った値であり、1定点医療機関当たりの報告数をあらわしています。)

インフルエンザの流行について

【今まで】

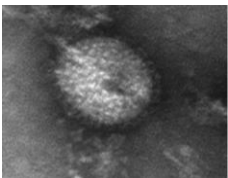
- ・例年は1月から2月にかけて流行がみられます。
- ・2020/21～2022/23シーズンは新型コロナウイルス感染症との同時流行が危惧されましたが、インフルエンザの大規模な流行は見られませんでした。
- ・2023/24シーズンは9月末には注意報レベルとなり、例年より長期間流行が続きました。

【これからどうなる？】

- ・南半球に位置するオーストラリアでは2024年のインフルエンザ流行期に例年より多くの患者報告がありました。
- ・神奈川県では、今年は第44週に定点当たり患者報告数が流行開始の目安となる「1」を超えました。



油断せず感染予防を行う必要があります。



インフルエンザウイルス電子顕微鏡写真
(撮影: 神奈川県衛生研究所 微生物部)

予防対策

○手洗い

外出先から帰ってきた時など、流水・石けんでこまめに手洗いをしましょう。アルコールによる消毒も有効です。

○咳エチケット

咳やくしゃみが出る時は、周りの人にかからないようにマスクをするなどの咳エチケットを徹底しましょう。

○ワクチンの接種

インフルエンザワクチンは、接種してから効果が出るまで2週間程度かかります。



インフルエンザワクチンについて

今シーズンの注射の不活化ワクチンは、昨シーズン同様、4価ワクチンです。(A型2種類とB型2種類の4種類をもとに作られています。) 鼻に噴霧する生ワクチンは、A型2種類とB型ビクトリア系統の3価ワクチンです。

不活化ワクチン (生後6か月以上)



A型

① A/ビクトリア
/4897/2022(IVR-238)
H1N1

② A/カリフォルニア
/122/2022(SAN-022)
H3N2

B型

③ B/フーケット
/3073/2013 (山形系統)

④ B/オーストリア
/1359417/2021(BVR-26)(ビクトリア系統)

生ワクチン (2歳以上 19歳未満)



A型

① A/ルウェー
/31694/2022(H1N1)

② A/タイ
/8/2022(H3N2)

B型

③ B/オーストリア
/1359417/2021
(ビクトリア系統)